

職務の級及び号給決定計算書①									
フリガナ	フリガナ	フリガナ	性別		生年月日 (和暦)	H5年11月21日			
氏名	福島	花子		女					
卒業学校名 (中学校から)			在学期間 (和暦)		修学年数	卒業修了 中退の別			
郡山市立安積中学校			自	H18年 4月 1日	3年 0月	卒修・退			
			至	H21年 3月 31日					
福島県立安積高等学校			自	H21年 4月 1日	3年 0月	卒修・退			
			至	H24年 3月 31日					
福島大学 人間発達文化学類			自	H25年 4月 1日	4年 0月	卒修・退			
			至	H29年 3月 31日					
明星大学 通信教育課程(通信制) (1年次10単位 2年次0単位)			自	H29年 4月 1日	2年 0月	卒修・退			
			至	H31年 3月 31日					
			自	年 月 日	年 月	卒修・退			
			至	年 月 日					
			自	年 月 日	年 月	卒修・退			
			至	年 月 日					
勤務箇所及び職務内容等			社会保険 加入の有無	在職期間 (和暦)		年 数	月 数	換算率	
無職(予備校在学)			有	自	H24年 4月 1日				
			無	至	H25年 3月 31日				
郡山商事(有)、正規採用、週5日、1日8時間勤務、 職務内容(事務)			有	自	H29年 4月 1日				
			無	至	R2年 5月 31日				
全日本進学塾(個人)、臨時採用、週3日、 1日5時間勤務、職務内容(講師)			有	自	R2年 6月 1日				
			無	至	R3年 3月 31日				
〇〇県立〇〇高等学校、非常勤講師(月手当)、 週当たり4日勤務、授業担当時間数18時間			有	自	R3年 4月 1日				
			無	至	R4年 3月 30日				
無職			有	自	R4年 3月 30日				
			無	至	R4年 3月 31日				
〇〇県立〇〇高等学校、時間講師、週当たり4日勤務、 週当たり18時間勤務、授業担当時間数14時間			有	自	R4年 4月 1日				
			無	至	R5年 3月 30日				
無職			有	自	R5年 3月 30日				
			無	至	R5年 9月 30日				
〇〇県立〇〇高等学校、常勤講師(欠員補充) (1-△号給)			有	自	R5年10月 1日				
			無	至	R9年 3月 30日				
			有	自	年 月 日				
			無	至	年 月 日				
			有	自	年 月 日				
			無	至	年 月 日				
上記のとおり相違ありません。									
令和 年 月 日 氏名(自署)									
受験種別・教科			受験番号			(全校)			
記入上の 注意	1 太枠内のみ記入すること。 2 採用月日の前日までの職歴を記入すること。 3 年月日を記入する際の和暦はアルファベットで記入すること。(昭和:S 平成:H 令和:R)								

在職期間とずれが生じないように、入学、卒業年を正しく記入する。

この間は勤務箇所及び職務内容等の欄に記入する。
(例：無職(予備校在学))

通信制、定時制の場合は、その旨明記する。
中退の場合は、年度ごとに取得単位数を()書きで記入する。

勤務歴がある場合、社会保険加入の有無に必ず○を付ける。

民間会社等の場合、会社の形態、採用形態、週当たりの勤務日数、一日当たりの勤務時間数及び職務内容を記入する。

非常勤講師(月手当)の場合、週当たり勤務日数及び授業担当時間数を記入する。
(授業を行わない非常勤職員は、職名及び週当たり勤務時間数を記入)

時間講師の場合、週当たり勤務日数、週当たりの勤務時間数及び授業担当時間数を記入する。

級及び号給の記入は不要。

記入年月日を記入する。
署名する。

受験種別(教科)及び受験番号を記入する。

記入枚数を記入する。

